

よこはまユースレター

発行／公益財団法人よこはまユース
tel.045-662-3716 fax.045-664-6254
URL <http://yokohama-youth.jp/>
Eメール soumu@yokohama-youth.jp



大勢の子どもたちの笑顔と 成長が見たい！

— よこはまユース 平成 26 年度事業計画 —

「大勢の子どもや若者たちの笑顔が見える V(^)V」、平成 26 年度はそんな 1 年にしたい…、笑顔予報のいくつかをピックアップします。

▶ 放課後キッズクラブ運営と新設クラブの獲得

▶ 野島青少年研修センターは

集団体験活動プログラムで笑顔いきいき

小学生の体験学習、カヌー教室・キャンプ、わくわく生活体験キャンプ など

▶ 「ここが好き! 来たい!」

青少年の居場所活動を推進・支援

▶ 寄り添い型支援事業で高校進学をサポート

▶ はまっ子道志キャンプ

子どもたちの笑顔、成長につながるよう様々な事業を実施・提供します。



「日頃のご支援、 ありがとうございます」 (1 月 22 日)

お囃子に迎えられ、スタートした平成 26 年「新春のつどい」。日頃から法人を支えていただいている、多くの皆さまにご参加いただきました。



感謝状贈呈式、法人の事業報告のほか、日頃、青少年



交流センターで稽古に励む『横浜やっしゃ鯛』さんによる『獅子舞』や「曲独楽」(コマを使った曲芸) などのアトラクションもあり、大いに盛り上がり、親睦を深めていただく機会となりました。

横浜市野島青少年研修センター

備えあれば… 津波避難訓練実施中！



野島青少年研修センターでは、安心してご利用いただけるように、東日本大震災を教訓に津波に対する危機管理に力を入れています。

日頃の職員の防災対策に加え、利用者には広域避難場所として指定されている、野島山(標高 57m)へ登ることを伝えています。この日、実際に避難訓練をしたのは、個別支援学級に通う小・中学生と保護者、ボランティアの約 120 人。石段と坂道の 2 ルートのうち石段を登って頂上を目指しました。登り口まで約 2 分、石段を上って約 5 分で頂上へ到着。宿泊室からでも約 10 分で避難が完了することが確認できました。



26 年度は、交流センターの電気窯を活用した陶芸教室など、ユース賛助会員の皆さま限定的事業も計画しています。

*参加の詳細は会員の皆さまには別途、ご案内いたします。

野島青少年研修センター 指定管理第三者評価

2 月 18 日に野島青少年研修センター指定管理第三者評価が実施されました。これは、客観的かつ多角的な視点から評価を行うことにより、指定管理者にとっての「気づき」のきっかけとなり、指定管理者自らが業務改善を行い、施設運営の改善につなげることを目的としています。(横浜市指定管理者第三者評価制度運用指針より)

これまでの研修センターの取り組みや施設運営などの自己評価に基づくヒヤリングや施設の視察が行われました。評価委員の方々からは、新しい視点や改善の具体策についてアドバイスをいただくことができました。これらの意見を更なる躍進の原動力としてこれからもよりよい運営をめざしていきます。

*この評価結果は、横浜市ホームページで後日公表される予定です。

Thank you for your support.

ありがとうございました！

平成 25 年 12 月 1 日から平成 26 年 2 月 28 日まで

◆ ユース賛助会費	13 件	53,000 円
◆ 特定寄附金(野島クリスマスキャンプ)	4 件	4,000 円
◆ 一般寄附金	3 件	53,227 円

寄附金協力者(日付順、敬称略)

【団体名】 市立井土ヶ谷小学校 PTA / 公益財団法人横浜 YMCA / 市立新鶴見小学校 PTA / 横浜木曜会 / 市立綱島東小学校 PTA / ボーイスカウト横浜市連合会

【個人名】 古山 留美子 / 岩田 聡 / 田中 一徳 / 宮代 正実 / 福岡 稔 / 山口 勝清 / 後藤 真理子 / 中山 里美

横浜市青少年交流センター

「青少年の居場所づくり」全国フォーラム 2014

(2月15日・16日)

記録的な大雪にもかかわらず、全国から2日間で、延べ130人が参加。9回目となる今年のテーマは『僕らの最高の居場所～多様化する若者と居場所づくりの「いま」～』です。「若者がつくる“場”と社会の接点」をテーマにしたパネルディスカッションと4つの分科会では青少年が社会参加活動を通じた居場所の事例を取り上げ、活動している青少年から様々な思いを聞くことができました。2日目には駒澤大学の萩原建次郎教授の統括講演「子ども・若者の『居場所』の現在と未来」もあり、参加者が現状を共有しながらこれからの居場所のあり方を考えるフォーラムになりました。



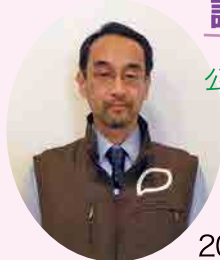
横浜市青少年育成センター

利用者とセンターとをつなぐ広報紙「馬車道通信」

青少年育成センターのある馬車道(関内)の四季折々の様子や利用者の活動紹介などを掲載しています(毎月発行)。編集は窓口で貸出や相談業務を行っているコーディネーターが担当。他のスタッフも馬車道の街路樹の写真を撮りに行ったり、利用者の活動にお邪魔してお話を伺ったりしています。毎回、取材をとおして「こんな活動をしていたんだ!」という気づきと、利用団体の活動への情熱が伝わってきます。

*ホームページにも掲載していますので、ぜひご覧ください。

講座・研修参加者の声



公益財団法人武蔵野生涯学習振興事業団
(武蔵野プレイス) 向田 恒彦さん

武蔵野プレイスは青少年活動支援機能も持った複合機能施設で、2013年に開館しました。スタッフの育成が課題ですが、よこはまユースの研修は講演から施設見学まで、プログラムが充実しているので、スタッフの研修に最適と考え、いつも利用させていただいております。学んだ内容を各人が持ち帰り、お互いに教えあう時間をつくるなどして、全員の能力向上に役立っています。これからも有意義な企画を期待しています。

*「ユースコーディネーター養成講座」参加

よこはまユース(本部事業)

青少年サイエンスプログラム

プログラムの企画から当日の運営まで、すべて市立横浜サイエンスフロンティア高校の生徒が行っています。高校生の講義は、専門的でありながらも、子どもたちにわかりやすいように工夫されています。

プログラム① 化石教室

(1月26日)

国立科学博物館からお借りしたたくさんの貴重な化石を前に、参加した小学生だけでなく高校生も保護者も大興奮! 三葉虫*などの化石のレプリカづくり、化石のスケッチと盛りだくさんの内容でした。

*三葉虫:カンブリア紀に現れ古生代終期に絶滅した節足動物

プログラム② 天文教室

(2月23日)

国際宇宙ステーションの話や星座早見盤づくり、そして参加者に大人気だったのがプラネタリウム鑑賞とサイエンスフロンティア高校の大きな天体望遠鏡の見学です。あいにくの曇天で本物の星は見ることはできませんでしたが、「北極星の見つけ方がわかった」「星座にはいろんな種類があるんだね」など、参加した子どもたちにはたくさんの発見がありました。

ユースサポーター研修「チーム力UP講座」

(2月22日、3月1日～2日)

粘土で作った人形をコマずつ動かして撮影するクレイアニメーション制作に取り組みました。

1つのものを作り上げる過程で、自分の思いだけでなく、仲間の視点に立って活動することの大切さを学びました。



放課後キッズクラブ

“魔法”の食材を使って、ランチづくり

— 港南台第三小放課後キッズクラブ

(1月18日)

その食材とは? 昨年10月に種を蒔いてから、「大きくなあれ! 美味しくなあれ!」とみんなで協力して水やりや間引きをして栽培した大根です。

「ちゃんと育ったかな?」と少し不安そうでしたが、予想以上に立派に育った大根ばかり。

自分たちで育て収穫した大根がいっぱい入った豚汁は、味も格別! みんなをニコニコ笑顔にする魔法の力もあったようです。

